

# 新着図書案内

第3弾

## 『ときめく心 中学生の相聞歌』

(著：桔梗 亜紀)

相聞歌…相手の消息をたずねる和歌。恋の歌が多い。

桔梗亜紀さんは島根県で中学校の先生をしていた方で、短歌や俳句の創作でお互いの気持ちを共有しあう国語の授業を実施されました。その様子はNHK TV「わくわく授業」で紹介されました。

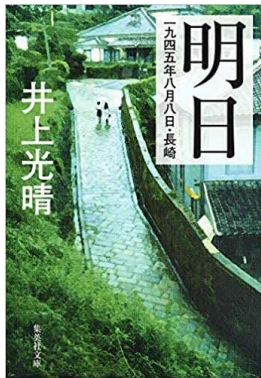


## 『明日 一九四五年八月八日・長崎』

(著：井上 光晴)

原爆投下の前日、1945年8月8日、長崎の町には、今現在そこに住む人々と、おなじ人間の暮らしがあった。結婚式を挙げた新郎新婦、刑務所に収監された夫に接見する妻、難産の末に子供を産む妊婦。

愛し、傷つき、勇気を奮い起し、悲喜こもごも生きる人々を突然に襲う、運命の「明日」一。人間の存在意義を問い、核の脅威と向き合う「今日」を鮮烈に描き出す、昭和文学の金字塔。



## 『推し、燃ゆ』

(著：宇佐美りん)

逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を”解釈”することに心血を注ぐあかり。ある日突然、推しが炎上しー。デビュー作『かか』が第33回三島賞受賞。21歳、圧巻の第二作。



### 【第164回芥川賞受賞作】

「推しが燃えた。ファンを殴ったらしい」朝日、読売、毎日、共同通信、週刊文春、ダ・ヴィンチ「プラチナ本」他、各紙誌激賞！！三島由紀夫賞最年少受賞の21歳、第二作にして第164回芥川賞受賞作

## 『二十歳のソウル』

(著：中井 由梨子)

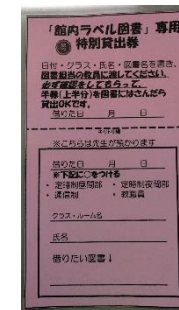
作曲家になること、恋人との結婚……。たくさんの夢を抱えたまま、浅野大義は肺癌のために20年の短い生涯を終えた。告別式当日。164名の高校の吹奏楽部OBと仲間達が涙で演奏する大義が作曲した市立船橋高校の応援歌「市船 soul」。人生を精一杯生ききった大義のための1日限りのブラスバンド。関係者の証言で描く感動の実話ストーリー。



## ○ その他の新着図書一覧

藤家 寛子	他の誰かになりたかった
ブレメン・テール	アルツハイマー病真実と終焉
鎌池 和馬	新約 とある魔術の禁書目録 1~22
古家聡/イハタ・アツ・C	ニューエクスプレス+ イギリス英語
喜多下 幸子	ニューエクスプレス+ 中国語
太田 達也	ニューエクスプレス+ ドイツ語
田中 光	サラリーマン山崎シゲル

※図書学習室にある、漫画本などの「館内シール」が貼ってある図書が貸出可能になりました！



通常の貸出カードではなく、←左の貸出カードを使って借りてください。

借り方が通常の図書と違うので、わからないことがあれば先生に聞いてください。

浜田高校定時制通信制HPには図書室のページも作ったのでそちらもまた見てみてください。